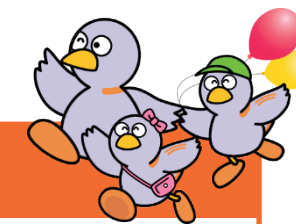


共助社会づくり支援事業

助成件数 助成金額合計
4件 **1,667,000円**

NPO法人が実施主体となり、市町村や自治会、社会福祉協議会、任意団体などの3主体以上が連携し、地域課題を解決するために取り組む助成事業です。



事業名	地元の子供たちによる外国人観光客おもてなし英語ガイドキッズ養成
法人名	特定非営利活動法人 AEA英語通訳キッズプロジェクト【熊谷市】



連携団体名	・熊谷市スポーツ観光課 ・熊谷市教育委員会 ・一般社団法人熊谷市観光協会 ・埼玉大学教育学部
活動内容	AEAは、日本に興味・関心のある外国人観光客に対し、子供たちと、その家族と一緒にガイドを行う、ボランティア活動に取り組んでいます。 地域の伝統行事やイベントでの様々な人との交流を通じて、子供たちの豊かな人格形成とコミュニケーション能力の向上を図り、世界中のどこでも生き抜く力を育成することに力を注いでいます。
事業取組	地元の子供たちによる「おもてなし英語ガイドキッズ」の養成を行いました。 県内での子供ボランティア英語ガイドの育成に貢献し、子供たちが外国人観光客に対し、英語でふるさとを紹介することで郷土愛を育み、コミュニケーション能力と問題解決能力を持つ、どこでも生き抜くことのできる人材の育成を図りました。 また、ラグビーワールドカップの熊谷会場で試合を行った6か国の選手たちにラグビーボールを提供する取組を行い、そのうちのサモア大使館、アメリカ大使館、アルゼンチン大使館に訪問しました。
事業成果	ラグビーワールドカップの経験とノウハウを生かし、オリンピック・パラリンピックに向けて、多くのキッズボランティアを育成する準備を進めています。県や各自治体、学校教育との連携を拡大し、今後、一層進んでいく社会の変化に対応できる子供たちの育成に助力したいと考えています。 地域社会や外国人との交流を重ねる事で、自ら考え、解決して、相手に伝える力を育む、英語教育の一助を担っていきたくと考えています。

総事業費 **722,488 円** 助成額 **500,000 円**

事業名	糸でつなぐ多文化コミュニケーション
法人名	特定非営利活動法人 ギニアこころのクリニックとおむすびの会【川口市】



連携団体名	・川口市協働推進課 ・医療生協さいたま生活協同組合 ・有限会社クチュールカワムラ
活動内容	川口市内を拠点に、様々なルーツを持つ地域住民同士の交流や、相互理解を図るための活動、アフリカのギニアへの支援に取り組んでいます。ギニア支援は、資金援助のほか、イベントの主催や参加など。普段はダンス、防災マップの作成、料理教室の開催などを行っています。
事業取組	糸や織物をテーマに、川口市や蕨市などで活動を行っているNPO、企業、医療機関、行政が連携し、地域の織物の歴史を掘り起すと同時に世界の織物のことを紹介し、外国にルーツのある人と共に生きる地域社会を創りだしました。 1月25日、糸にまつわる国際交流フェアを開催。蕨市の双子織とギニアの藍染の布でつくった衣装を2017ミスユニバース埼玉の工藤沙織さんが着用披露しました。ギニアの元外交官であったオスマン・サンコンさんの講演やクルドの伝統的なダンス、アフリカンリズムダンス、ワークショップなどを行いました。
事業成果	1月25日のイベント開催に向けて川口市内の様々な市民団体や医療機関と協力関係が築けました。川口市からもイベントの後援をいただくなど、行政との連携もとれました。クルド人の子どもたちがアフリカンダンスをしたいと申し出るなど、今後は様々なルーツを持つ地域住民同士の交流促進が期待できます。また染め物や織物などの文化を通じた相互理解も進めていきたいです。

総事業費 **277,401 円** 助成額 **221,000 円**

事業名	閉じこもりがち高齢者の復活！ノルディック・ウォーク
法人名	特定非営利活動法人 NORDIC あさか【朝霞市】



連携団体名	・朝霞市長寿はつらつ課 ・朝霞市社会福祉協議会 ・地域包括支援センター「ひいらぎの里」 ・株式会社リゾン
活動内容	健康増進のノルディック・ウォークを楽しむ、明るく健康なサークルです。180人の会員とともに、月に9回の教室を開催し、行政民間を問わず、普及活動を行っています。楽しみながら体力アップ、健康になるウォーキングです。
事業取組	一人でも多くの方々にノルディック・ウォークを知っていただきたい私たちの想いと、閉じこもりがちになっている高齢者のお役に立ちたい方々（行政、社協、包括、団体等）の想いを一つに合わせ、「外に出ること、歩くこと、仲間を作ることが楽しい！」と感じてくれるプログラムをつくり、実施しました。町内会や老人サロンなどにお邪魔して、ノルディック・ウォークの実践指導やスライド説明を行いました。プログラムは1回あたり約2時間で、全19回行い、全ての会場で好評を得ました。
事業成果	プログラムは、全16グループで19回実施できました。受講した皆様の中には、早速ボールを購入する方、個人やグループで継続して歩いた方も多く、「元気を取り戻した！」「歩くのが楽しい！」などのお声を頂いています。

総事業費 **557,796 円** 助成額 **446,000 円**

事業名	介護の日フェスタ 世代間交流「やさしいまち in あさか」
法人名	特定非営利活動法人 メイあさかセンター【朝霞市】（認定NPO法人・県指定NPO法人）



連携団体名	・朝霞市長寿はつらつ課 ・朝霞市内のNPO法人等団体で作る実行委員会
活動内容	メイあさかセンターは学校教育との連携やミニデイサービスの運営などの福祉分野、そして絵画作品の交換や人材育成支援を通じたマレーシアとの交流、という2つの大きな活動を32年間継続しています。活動で得た知見を生かし、中間支援組織として認定・指定を目指すNPO法人を支援しています。
事業取組	「互助」の実現した社会の構築を目指し、「介護の日フェスタ」を開催しました。開催に向けた準備として、イベント関係者と市民を対象に「互助」についての事前学習や、学校への取材を実施しました。当日は、約450名が参加し、参加者や出展者間でコミュニケーションが盛んに交わされました。また、33団体・個人が、イベントの企画から運営まで携わり、イベントの集大成として、記録誌を発行しました。
事業成果	大人だけではなく、小学生から大学生に至るまで幅広い年代の若者も参加し、世代を超えた交流を促進しました。記録誌発行も今後の活動に大きな影響を与えると考えています。 イベントを踏まえ、参加団体が、実際に生活している人の視点で「自助」「互助」を見直す機会になり、さらなる支援の充実の前進になると思います。活動を通じ、当法人の原点であり、活動の両輪である「福祉・国際」を再確認し、当法人の後継者たちが活動しやすいように、基盤の整備に努め、誰一人取り残すことのない「やさしいまち」になるよう足元からの再スタートに活かしたいと考えています。

総事業費 **654,027 円** 助成額 **500,000 円**